

第1日 5月26日(土)

◆理事会 11:30~12:30 (R302)

◆受付開始 12:30

◆社会調査士制度に関するフォーラム 12:45~13:45 (R205)

「社会調査(士)未満/以上の社会学を語る」

司会: 芦田徹郎 (甲南女子大学)

第1報告 原田隆司 甲南女子大学

第2報告 川端 亮 大阪大学

第3報告 新 睦人 奈良女子大学名誉教授

◆研究報告?T 14:00~16:30

[第1室] 理論・学説?T (R202) 司会: 城 達也 (大阪経済大学)

1. 社会思想としての功利主義の検討 木村 純 京都大学
2. 価値対立における合意形成の条件 山本真理子 京都大学  
——アメリカ中絶問題への討議倫理的アプローチ——
3. 「知的公共圏」の理論的可能性 園 知子 京都大学  
——京都学派への空間的アプローチに基づいて——

[第2室] 社会調査法・社会学研究法 (R203) 司会: 早川洋行 (滋賀大学)

1. 外国における日本イメージの探究 真鍋一史 関西学院大学  
——ドイツの外国・地域・都市紹介雑誌に描かれた日本——
2. 現代の新聞と人々の意識 樋口耕一 大阪大学  
——全国紙の内容分析は社会調査の一環たりうるか——

3. 社会調査実習における「エラー報告」の活用 ○溝部明男 金沢大学  
○轟 亮 金沢大学
4. 【二極ベクトル法】と当事者参画 福永英雄 京都大学

[第3室] 家族?T (R 2 0 4) 司会:野々山久也 (甲南大学)

共同報告:父親と育児

1. 父親はなぜ育児をするのか 斧出節子 華頂短期大学
2. 母親は父親に対してどのような育児役割を期待しているか? 大和礼子 関西大学
3. 父親の仕事と子育てにおける葛藤 木脇奈智子 羽衣国際大学
4. 地方小都市における父親の育児参加と意識 冬木春子 静岡大学

[第4室] 地域社会?T (R 2 1 2) 司会:山本剛郎 (関西学院大学)

1. 過疎集落における民俗舞踊の「保存」をめぐる一考察 植田今日子 筑波大学  
——熊本県五木村梶原集落の「太鼓踊り」の事例から——
2. ある「村」の「近代化」過程 伊藤麻沙子 大阪大学  
——岩手県釜石市橋野町の事例研究——
3. 「ぎょしょく教育」と地域社会の再結合 ○阿部 覚 愛媛大学  
——水産分野における「地域に根ざした食育」の意義—— ○野崎賢也 愛媛大学  
○若林良和 愛媛大学
4. 農食をめぐるオルタナティブ運動の運動特性 ○碓井 ？ 吉備国際大学  
——地産地消・有機農業・スローフードの場合—— 奥村義雄 吉備国際大学  
星 敦士 甲南大学

[第5室] 産業・労働・技術 (R 2 1 1) 司会:松戸武彦 (南山大学)

1. 系列の制度変化にかんする研究 ○宮本琢也 神戸大学  
——技術的合理性と正統性の相克と折衷を超えて—— 浦野充洋 神戸大学
2. 職場への帰属意識と相談ネットワーク 宮田尚子 大阪大学  
——組織適応期における相談ネットワークの型と密度——
3. 現代中国における若年層の転職行動に関する一考察 中村 圭 同志社大学

4. 階層意識に対する従業上の地位の効果について  
——2005SSM 調査データによる分析——
- 小林大祐 仁愛大学

[第6室] 政治・社会心理 (R 2 1 0) 司会：大橋松行 (滋賀県立大学)

1. リスク社会における不安  
——いかなる資源が生活不安を緩和するのか——
- 阪口祐介 大阪大学
2. 日本の新しい政治文化と政治意識  
——階層的属性および地域属性の効果の検討——
- 田麿裕祐 大阪大学
3. ローカル・マニフェスト型公開討論会の実際  
——香川県 X 市長選挙を事例に——
- 大山治彦 四国学院大学

[第7室] 教育 (R 2 0 9) 司会：今津孝次郎 (名古屋大学)

1. 中学生の体験学習とその受容  
研究所  
——「トライやる・ウィーク」体験者への聞き取り調査から——
- 大瀧友織 少子・家庭政策研  
究所
2. 現代日本社会におけるフリースクール像再考  
——京都市の事例をとおして——
- 森田次朗 京都大学
3. 特別支援教育の制度化過程における組織フィールドの創生  
——盲学校のセンター的役割の神話機能に注目して——
- 佐藤貴宣 大阪大学
4. 現代大検受検者家庭における教育アスピレーションの世代間伝達  
菅澤貴之 九州大学

[第8室] 文化・社会意識 (R 2 0 8) 司会：富田英典 (関西大学)

1. 珈琲社会学序説  
——味覚の社会的構成／文化の記述——
- 中根光敏 広島修道大学
2. ショーウィンドーという体験  
——大正・昭和初期におけるガラスの受容史——
- 西川純司 京都大学
3. インターネットの「フリー」な文化を支えるもの  
——「フリーゲーム」製作者たちの事例から——
- 谷村 要 関西学院大学
4. 80年代と90年代の都市空間の連続と断絶  
——原宿を事例として——
- 石井和也 京都大学

[第9室] ジェンダー?T (R207) 司会：牟田和恵 (大阪大学)

1. 性同一性障害医療における不可能なニーズ  
——ガイドラインと特例法をめぐるポリティクスの分析——  
高橋慎一 立命館大学
2. 自己物語の構成における記憶と記録  
——ジェンダー・アイデンティティと写真——  
中塚朋子 奈良女子大学
3. 自伝に表出された「性の選択」  
——トランスジェンダーの自伝を通して——  
田多井俊喜 京都大学
4. 北米社会におけるインターセックスの位相  
——当事者の身体の実験から——  
入江恵子 奈良女子大学

◆総会 16:45～ (R205)

◆懇親会 18:00～20:00 (寒梅館)

第2日目 5月27日 (日)

◆受付開始 9:00

◆研究報告?U 9:30～12:00

[第1室] 理論・学説?U (R202) 司会：新 睦人 (奈良女子大学名誉教授)

1. よそ者概念のアクチュアリティに関する一考察  
——Z・バウマンのよそ者観を中心に——  
徳田 剛 神戸大学
2. E.エリクソンにおけるアイデンティティ概念の形成  
柴田智恵 松山大学
3. シカゴ学派社会学の揺籃期  
——ドイツ闘争の社会学の移入と移民周期説——  
鎌田大資 椋山女学園
4. 幻想において交錯する視線と意識  
——E・T・A・ホフマン『砂男』をめぐる——  
平田知久 京都大学

[第2室] 家族?U (R203) 司会：木下栄二 (桃山学院大学)

1. 「父親」の地位と役割の探求 二階堂裕子 (財ひょうご震災記念  
21世紀研究機構)  
——「おやじの会」に参加する人々の実践——
2. 乳幼児をもつ母親の悩みの分かち合い 戸江哲理 京都大学  
——ある「つどいの広場」の事例の会話分析——
3. 子どもの近くに転居してきた「呼び寄せ高齢者」に関する研究 伊藤シヅ子  
——聞き取り調査の事例より——

[第3室] 地域社会?U (R204) 司会：足立重和 (愛知教育大学)

1. 集落形態と地域形成の関係に関する考察 岩田俊一 兵庫大学附属総合  
科学研究所  
——兵庫県明石市の「明石惣町」を中心としてみた明石のイメージを中心に——
2. 廃墟から文化遺産へ 木村至聖 京都大学  
——長崎市高島町における軍艦島を生かしたまちおこし——
3. 京町家の再生利用と地域活性化 ○逢 軍 同志社大学  
——「伝統文化祭 西陣千両ヶ辻」を事例に—— 中村 圭 同志社大学
4. 商店街における共同体意識と、「地域の語り」の意味 八木寛之 甲南大学  
——大阪市浪速区南陽通商店街の活性化活動への参与記録から——

[第4室] 労働・社会問題 (R212) 司会：平川 茂 (四天王寺国際仏教大学)

共同報告：若者と社会的排除 (2) 大阪市若者調査から

1. 大阪市における若者の就業構造 内田龍史 大阪市立大学  
——3時点 (1992年・1997年・2002年) の変遷と現状——
2. 家庭・学校生活から職業生活への移行 妻木進吾 日本学術振興  
会
3. 「ニート・フリーター」意識の構造 ○西田芳正 大阪府立大学  
——自由記述データ・インタビュー調査から—— 菅野正之 広島大学

[第5室] 文化・知識・科学 (R211) 司会：清水 学 (追手門学院大学)

1. 個人と社会をつなぐ地図  
——地理的想像力の可能性——  
松岡慧祐 関西大学
2. 近代日本における「武士道」ブーム再考  
——芥川龍之介の短編『手巾』を手がかりに——  
竹内里欧 京都大学
3. 自己意識を社会的に考察する可能性について  
——辻潤の自己解体的言説を手がかりに——  
鍵本 優 京都大学
4. 女子中高生による自画像公開の変容  
——プリクラ掲示板のフィールド・ワークから——  
加藤裕康 神戸親和女子大  
学

[第6室] 社会病理・社会問題 (R210) 司会：高原正興 (京都府立大学)

1. 「おたく」という愛情様式の一形態  
浅野直樹 京都大学
2. 生きづらさを感じる人々の自己表現と自己イメージの変化  
——アートや映像による自己表現をおこなうということ——  
藤澤三佳 京都造形芸術  
大学
3. 日本の被害者学から見る「犯罪被害者」の変遷  
——60・70年代の被害者学の考察から——  
大谷通高 立命館大学

[第7室] 社会福祉・地域社会 (R209) 司会：竹中英紀 (桃山学院大学)

1. 泉北ニュータウンの現状と福祉課題  
——その開発経過と現況について——  
棚山 研 羽衣国際大学
2. 泉北ニュータウンの現状と福祉課題  
——高齢者の孤独死を中心に——  
新井康友 羽衣国際大学
3. 泉北ニュータウンの現状と福祉課題  
——泉北ニュータウンにおけるソーシャル・サポート・ネットワーク——  
木脇奈智子 羽衣国際大学
4. キリスト者賀川豊彦の社会福祉事業と豊島の人々  
上川克枝 奈良女子大学

[第8室] 社会心理・医療 (R208) 司会：平 英美 (滋賀医科大学)

- |   |      |         |
|---|------|---------|
| 1. 「心理主義化」の再検討<br>学                             | 山田陽子 | 広島国際学院大 |
| 2. ホスピス・緩和ケア病棟におけるケア実践<br>——ケアのコーディネイトと患者中心主義—— | 竹内慶至 | 大阪大学    |
| 3. セルフヘルプ・グループの物語論的考察<br>——回復の意味の変容とパラドックス——    | 中田喜一 | 佛教大学    |

[第9室] エスニシティ (R207) 司会：浅野慎一 (神戸大学)

- |   |       |        |
|---|-------|--------|
| 1. 日本人のマイノリティ文化保護に対する意識<br>——ISSP2003 国際比較調査の分析から——   | 永吉希久子 | 大阪大学   |
| 2. 在日台湾人の日本社会への適応教育戦略<br>——ニューカマーの母親の事例に——            | 黄 嘉?h | 神戸大学   |
| 3. 外国籍住民に対する取り組み<br>——行政とボランティア団体の間にあるギャップ——          | 浅田秀子  | 愛知大学   |
| 4. マルチエスニック・コミュニティにおける民族関係とエスニシティ<br>——大阪府八尾市を事例として—— | 高智富美  | 大阪市立大学 |

[第10室] ジェンダー?U (R205) 司会：細辻恵子 (甲南女子大学)

- |   |       |        |
|---|-------|--------|
| 1. セクシュアル・ハラスメント認識についての一考察                | 園井ゆり  | 活水女子大学 |
| 2. 京都大学における男女共同参画<br>——京都大学構成員の家庭生活を中心に—— | 山本理子  | 京都大学   |
| 3. 京都大学における男女共同参画<br>——教員および職員の地位とジェンダー—— | 落合恵美子 | 京都大学   |

◆シンポジウム 13:30~17:00

第1シンポジウム アジアの中の日本—ハイブリッドモダンの社会と文化 (R204)

司会：鵜飼孝造 (同志社大学)・宮本孝二 (桃山学院大学)

第1報告 「アジアのなかの日本・日本のなかのアジア」の存立構造とその課題

首藤明和 兵庫教育大学

第2報告 「アジアのシリコンバレー」台湾・新竹における地域再編 河口充勇 同志社大学

第3報告 韓国の少子化現象—家族とジェンダーの視点から 山中美由紀 龍谷大学  
討論者 友枝敏雄 大阪大学

第2シンポジウム オーラル・ヒストリーと歴史 (R205)

司会: 山田富秋 (松山大学)・落合恵美子 (京都大学)

第1報告 ライフストーリーと<個人の歴史性> 小林多寿子 日本女子大学

——ある日系アメリカ人一世の「ライフ」への視点——

第2報告 地域社会と「戦争の記憶」 野上 元 筑波大学

第3報告 地域史研究におけるインタビューという「営為」 倉石一郎 東京外国語大学

討論者 蘭 由岐子 神戸市看護大学

## 2007年度関西社会学会総会

日時 5月26日(土) 16:45~

会場 臨光館2F R205

### 総会次第

開会の辞

会長挨拶

議長発議







---